

高齢者の皆様へ

結核、早期発見 Q&A

～年に1回健康診断を受けましょう～

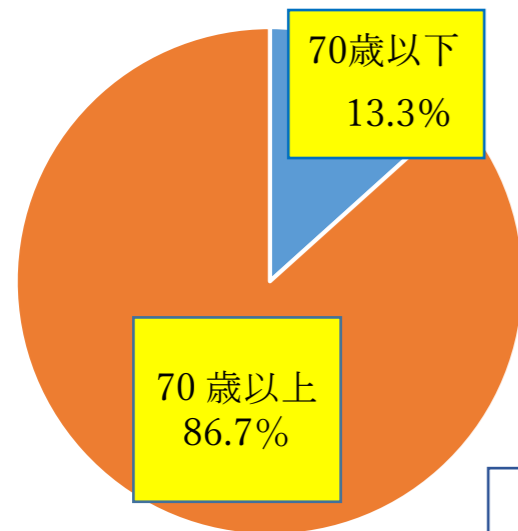


豊岡健康福祉事務所管内では、高齢者の結核発症率が全国より高い

日本の結核、新規患者数および死亡者数ともに減少しています。しかし現在でも、高齢者を中心に年間1万4500人もの方が結核を発症しており、6割が70歳以上となっています。

結核は今もなお、主要な感染症の一つです。過去の病気ではありません。

豊岡健康福祉事務所管内で、令和1年、2年に結核を発症した人の8割以上が70歳以上の高齢者でした。早期発見のために、年に1回は必ず健診を受けましょう。



豊岡健康福祉事務所管内では、新規結核患者の8割以上が70歳以上

令和1、2年 豊岡健康福祉事務所管



Q どうして高齢になってから、結核を発症することが多いのですか？

高齢者の若い頃は、結核菌がまん延していた時代で、その時に感染した人が多くいます。感染していた人が、加齢や治療等により免疫が低下すると、身体の中で眠っていた菌が増えて結核を発症するからです。

Q 結核は治りますか？

決められた期間、毎日きちんと薬を飲めば治る病気です。ほとんど再発することはありません。

しかし、内服が不規則になると薬の効かない耐性菌となってしまうたり、再発したりすることがあるため、確実な内服はとても大切です。

Q 早期発見のために気をつけることは何ですか？

年に1回の健診に加え、日常の健康観察がとても大切です。

早期に発見すれば、病気の重症化を防ぐだけでなく、周囲の人への感染を防ぐことができます。

症状がなくても、1年に1回は、市町で行われる健診やかかりつけ医で胸部レントゲン検査を受けましょう。



Q 高齢者が注意する症状は、どのような症状ですか？

高齢者は、自覚症状が乏しいこともあるため注意が必要です。

高齢者の場合、長引く微熱や体重減少、食欲低下、身体のだるさ、咳や痰などの症状に注意しましょう。

気になる症状があれば、早期に受診しましょう。



Q 結核を予防する方法はありますか？

高齢者の結核は、免疫の低下により発症することが多いです。

そのため、適度な運動、十分な睡眠、バランスの良い食事など、健康的な生活を送ることが、免疫の低下を防ぎ、結核の予防につながります。